

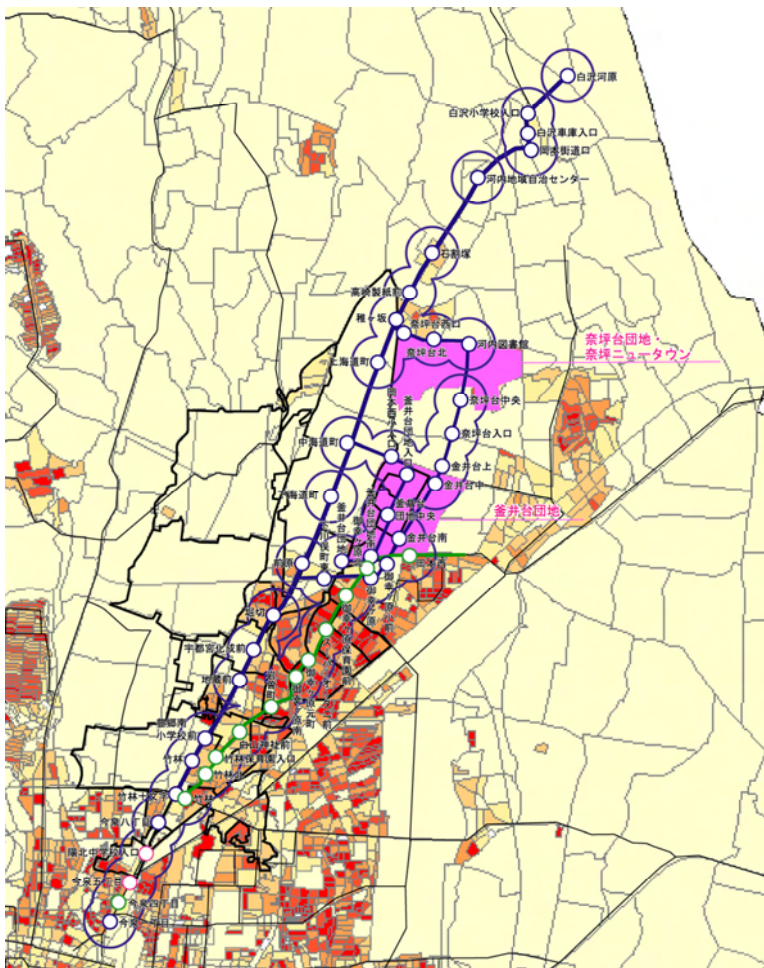
(4) 調査対象エリアの選定

対象エリアは、マイカーから転換後の代替手段となるバスの利用促進を考慮したエリアとすることから、下記の選定基準を条件に調査対象エリアを選定する。

【 対象エリアの選定基準 】

- 基準1：人口密度の分布
 - ・バス停付近に人口が集中しているエリアを優先的に対象エリアに含める
- 基準2：バスの利用圏域に重なる自治会エリア
 - ・バスの利用圏域(バス停からの距離を 250mとした場合)に重なる自治会区域を対象エリアとする
- 基準3：PTPS 導入区間(利便性向上施策としての相乗効果の期待)
 - ・PTPS 導入の効果と合わせた利用促進を図ることから、PTPS 導入区間を優先的に対象エリアに含める
- 基準4：集合住宅地の考慮
 - ・ある程度まとまった利用転換が期待できることから、“釜井台団地”を含める

【 白沢街道の状況(バス利用圏域と人口分布状況) 】



[図面に含まれる情報]

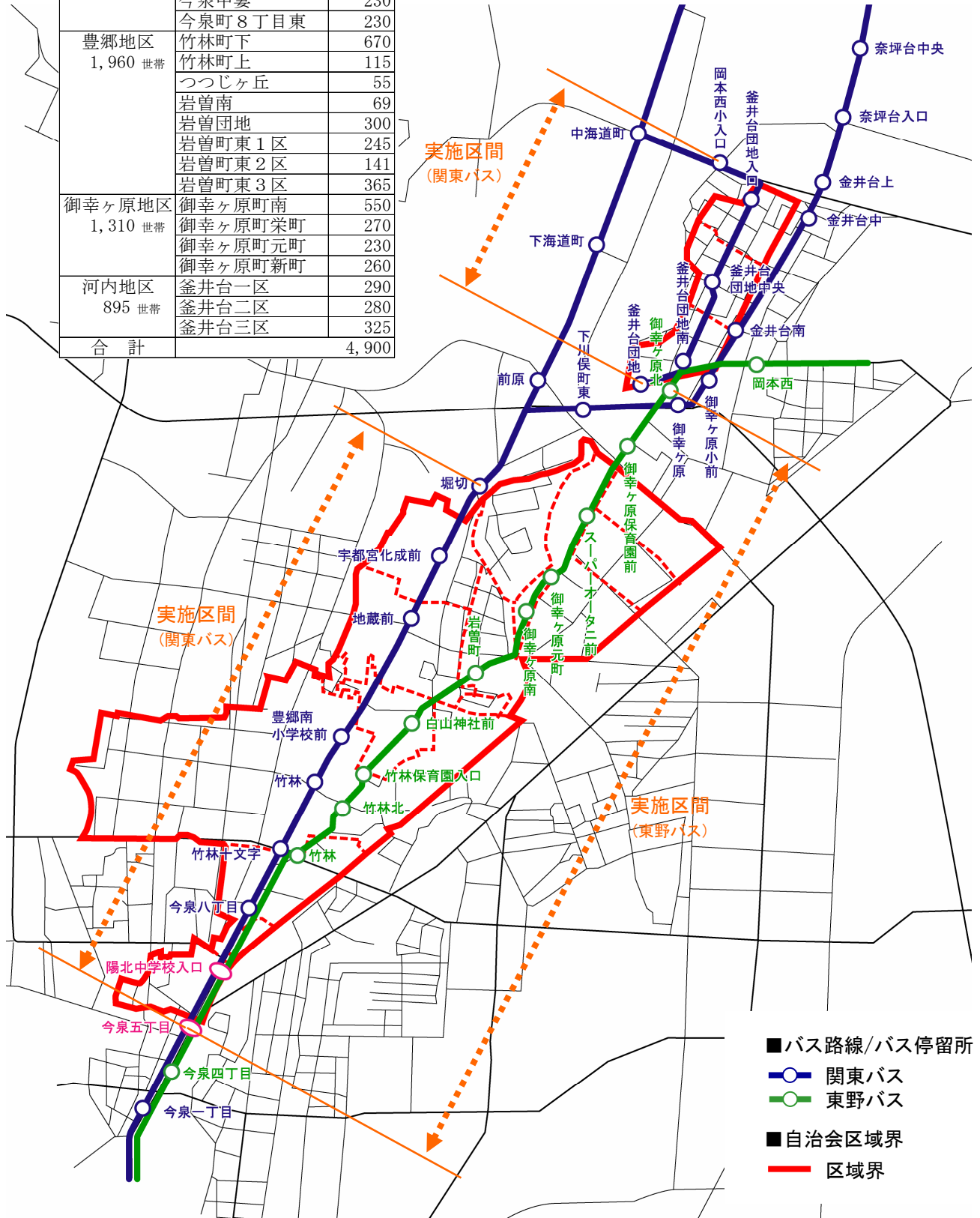
- ・バス停からの半径250m圏域
- ・自治会区域界
- ・500区画以上の宅地開発
- ・平成17年度国勢調査結果

- バス路線/バス停留所
 - 関東バス
 - 東野バス
- 500 区画以上の宅地開発
 - 宅地開発区域
- バス停利用圏域
 - バス停からの半径 250m 圏域
- H17 人口密度(人/㎢) (評価レベル)

11,000 -	} 高
9,000 - 11,000	
7,000 - 9,000	} 中
5,000 - 7,000	
3,000 - 5,000	} 低
0 - 3,000	

【 調査対象エリア 】

連合自治会	自治会名	世帯数
錦地区 735 世帯	今泉町5丁目	155
	今泉町8丁目中央	120
	今泉中妻	230
	今泉町8丁目東	230
豊郷地区 1,960 世帯	竹林町下	670
	竹林町上	115
	つつじヶ丘	55
	岩曽南	69
	岩曽団地	300
	岩曽町東1区	245
	岩曽町東2区	141
岩曽町東3区	365	
御幸ヶ原地区 1,310 世帯	御幸ヶ原町南	550
	御幸ヶ原町栄町	270
	御幸ヶ原町元町	230
	御幸ヶ原町新町	260
河内地区 895 世帯	釜井台一区	290
	釜井台二区	280
	釜井台三区	325
合計		4,900



- バス路線/バス停留所
- 関東バス
- 東野バス
- 自治会区域界
- 区域界